

沖縄ピースすてーじに参加して

和興支部 小玉潤



「2013沖縄ピースすてーじ」の要請があり、参加してきました。私は沖縄に行ったことがなく、最初に思いつくイメージが「観光地」でありましたが、「沖縄ピースすてーじ」参加にあたっては、ニュースでよく目にする「基地問題」が頭に浮かび、何故だか緊張感がありつつ羽田を飛び立ちました。

1日目、13時集合にて那覇市民会館へ集合し連合主催の結団式を行うと案内にあり、緊張感から落ち着かない私は、12時に会場へ到着し受付を行いました。しかし、「団結式は15時からです。周りは公園しかありませんが、3時間潰して来て下さい」の案内に唖然とし、多少怒りも覚えました。とりえず涼しい会場内で待つこととしました。

広い会場内には私1人しか居ませんでした。家も早く出てきたことからウトウト昼寝をしつつ待ちましたが、1時間経っても人が来ません。もしかして大分少数の参加なのかと思いつつ、また昼寝をしました。そして15時、目を覚ますと会場には1400名もの参加者が…。こんなに参加するのかと最初の緊張感が蘇り、姿勢を正しましたが、なんで13時に揃わないんだ…。これが沖縄時間か…。と妙な納得をしました。

連合主催の結団式を終え、情報労連「沖縄ピースすてーじ」の結団式のため、会場であり宿泊先のホテルへ向かいました。まず行われたのは、崎原真弓さん(カリスマスーパーバスガイド)による一人芝居「琉球王国・沖縄の歴史」を平和学習の一環として行われました。沖縄について知識がなかったことから、琉球王国時代の話はとても面白かったですが、一番記驚いたのは、沖縄が戦後アメリカから日本に返還されてから40年しか経っていないことでした。物心ついた時から「日本の沖縄」としか認識がなかったのですが、私の年齢(37歳)から大して変わらないことから驚き、あまりの知識の無さからの申し訳なさを覚え、真面目に取り組む事を決意し結団式を終えました。

2日目、「沖縄ピースすてーじ」のメインである嘉手納基地周回行動を情報労連330名、地元からの参加者80余名にて行いました。嘉手納基地の周りを17km行進し、基地の膨大さを感じ、基地縮小・日米地位協定の見直しを訴えると伴に恒久平和を世界に訴える行動でした。基地内の様子を見つつ周回行動を行いましたが、なんとも広い軍人用の住居や戦闘機用の建物があり、歩いて実感できないほどの広さでした。また、この建物は私達の税金である日本の「思いやり予算」から建てられていると聞かされ、沖縄県民の怒りが少し解ったような気がしました。基地の膨大さもそうでしたが、騒音も酷く感じました。私の実家は千葉県の習志野駐屯地の近隣であり、よく家の上を自衛隊の飛行機が飛んでいました。また、冬場になると演習の銃声が聞こえてきたりもしていました。しかし住んでいて慣れもあったのかあまり騒音と感じたことなく、嘉手納基地でも同じようなものかと想像をしていましたが、とんでもありませんでした。習志野と何が違うのでしょうか、戦闘機の爆音が酷過ぎる。また、輸送機も驚くほど低空飛行で飛んでおり怖いし、うるさいで酷いものでした。これは慣れでは済まないほどの騒音で、それがひっきりなしに続くのです。近隣住民はここで生活しているのかと考えると、とても自分では我慢できないと感じました。





嘉手納基地周回行動を終え、糸満市・平和記念公園に移動しました。平和記念公園には沖縄の戦争の犠牲者への慰霊碑が各県から建てられていました。また、沖縄の戦争での最初の犠牲者は通信技術者であったそうで、犠牲になられた先輩方へ、そして恒久平和を願いつつ黙とうを捧げてきました。3日目は、戦跡学習行動として、ひめゆり平和祈念資料館へ行ってきました。展示室では軍国主義教育とその犠牲になった学徒隊の運命が時を追うように説明されていました。ひめゆり学徒隊は高校生達にて編成され、看護部隊として地下壕にて軍人の手当てを行っていたそうです。彼女らは最後まで軍とともに最後まで行動し献身的に看護活動にあたったものの、敗戦し軍国主義のもと集団死の犠牲になった方も少なくないそうです。アメリカ軍に捕まると拷問されると教育され、親子で殺し合ったことも戦中はあったそうです。

平和学習として、フリーランスライターの屋良朝博氏の講演「沖縄の基地問題の真相」についても学習してきました。沖縄は日本の国土からすると0.6%程度であるが、そこに日本の74%もの米軍基地があるそうです。その沖縄基地のほとんどが海兵隊であり、海兵隊が基地近隣で問題を多く起こしているそうです。また、その海兵隊は訓練にてフィリピン等の訓練基地をまわっており、ほとんど日本に居ないそうで、あの膨大な基地は必要ないのではないかと提議していました。

オスプレイについても講演されていましたが、輸送能力は旧式の輸送ヘリよりは多く運べるものの、24名程度の輸送能力だそうです。沖縄へは12機配備と聞きましたが、運べる288名でなにを守れるのでしょうか。また、輸送ヘリよりは長距離移動ができるそうですが、鹿児島まで行ける程度であり、オスプレイを運ぶ船は長崎県にあるそうです。

なんとも非効率な運用と感じましたが、素人ではなんとも判断できません。



私は戦争についても沖縄基地問題についても深く考えたことはありませんでした。戦争はなぜ起こるのかと考えても個人でおこせるものではなく、米軍基地は本当に沖縄でないといけないのかと考えても、私の頭の中だけでは答えに辿りつけませんでした。政治的問題で平和が危ぶまれ、国民の生活が不自由になると思うと、最近のニュース番組を見て、なんとも悲しい気持ちになります。今回沖縄ピースすてーじに参加して感じたこと、学んだことは忘れることなく周りへ伝えていくことしか私には出来ませんし、せめて私の周りの人達が平和で幸せであるよう努力していきたいと思います。「観光地」の沖縄も最高だと思いますが、平和を勉強する沖縄もぜひいかがでしょうか。今後も「沖縄ピースすてーじ」が開催され、多くの方が参加されることを願っています。